

景観重要建造物 第1号 東山旧岸邸



名称	東山旧岸邸
設計者	吉田五十八
所在地	御殿場市東山 1082 番地の 1
所有者	御殿場市
建築年	1969 年（昭和 44 年）
構造	木造一部 RC 造 地上 2 階
指定年月日	平成 28 年 3 月 22 日
外観の特徴等	東山旧岸邸は、岸信介元首相が晩年を過ごされた邸宅で、近代数寄屋建築※ ¹ の巨匠吉田五十八氏により設計されました。建築を構成する要素を極力減らして水平垂直のラインを際立たせた抽象的なデザインは、周辺の豊かな自然環境と調和し良好な景観を形成しています。
※用語解説	※ 1 近代数寄屋建築 伝統的な数寄屋建築の美と機能性の両立を目指し、建築家吉田五十八氏により確立されました。主な手法として、大壁造・荒組障子・押込戸の採用、吊束と欄間の省略等が挙げられます。また、アルミパイプを下地窓に使用したり、カラーベストを柿葺き（こけらぶき）風に用いたり、リシン吹付壁を採用する等、工業生産材料を積極的に新しい数寄屋デザインに取り入れた点に特色があります。
施設概要	<p>（開館時間）</p> <p>4 月～9 月 10 時～18 時</p> <p>10 月～3 月 10 時～17 時</p> <p>（休館日）</p> <p>毎週火曜日（祝日の場合は翌日）</p> <p>12 月 29 日～1 月 3 日</p> <p>東山旧岸邸 HP https://www.kyu-kishitei.jp</p>